# 江南市スポーツ少年団冬季バドミントン大会要項

1. 主　　旨　各スポーツ少年団より団員の参加を得て、バドミントン大会を開催し、団員相互の親睦並びにその資質の向上を図り、スポーツ少年の発展をめざす。

2. 主　　催　江南市スポーツ少年団本部

3. 主　　管　江南市スポーツ少年団バドミントン運営委員会

4. 後　　援　江南市バドミントン協会

5. 日　　時　令和 8 年　12 月 12 日（土）　開会式午前 9 時 00 分

6. 会　　場　KTX アリーナ　（江南市スポーツセンター）メインアリーナ
7. 参加資格　江南市スポーツ少年団本部に登録された団員で構成されたチーム

8. ルール　2025-2026 年度日本バドミントン協会規則及び本大会競技規則に準ずる。
なお本大会競技規則とは別紙の「冬季バドミントン大会申し合わせ事項」とする。
試合は団体戦とし、試合順序は、複1・複2・単とする。

9. チーム編成　1チーム 4～7 名以内　複2組、単1組

10. 参加料　1チーム　2, 500 円

11. 監督者会議　令和 8 年 11 月 28 日（土）　午後 7 時 30 分から
場所　KTX アリーナ（江南市スポーツセンター）　2F　会議室 5

12. 申込方法　別紙申込書により会議 2 週間前 11 月 15 日（日）までに事務局に申し込むこと。
参加料は代表者会議時に支払うこと。
参加選手の個人情報の取り扱いに関する同意の意思の確認は、「大会申込書」で行う。
また、個人情報の保護に関する法律を遵守し、参加申込書に得た情報は、大会運営の目的以外には使用しません。

13. 表　　彰　Aクラスには本部より、優勝、準優勝、第3位に賞状・賞品を、第4位には敢闘賞（賞状・賞品）を授与する。
Bクラスには本部より優勝、準優勝、第3位に賞状を授与する。
C1、C2クラスには上位チームに、江南市バドミントン協会より奨励賞（賞状）を授与する。

14. 傷　　害　大会中の傷害については応急手当を行なうが、その後の責任はスポーツ安全保険の範囲内とする。

15. 問合せ先　江南市スポーツ少年団バドミントン運営委員会

各団のバドミントン運営委員まで

# 令和８年度　冬季バドミントン大会申し合わせ事項

１．チーム構成

１）１チーム４～７名とし、複２組、単１組とする。

２）１チーム５名以上で参加した場合。

＊ＡクラスとＢクラスに登録した選手は、予選のいずれかの試合に出場しなければならない。

＊Ｃクラスに登録した選手は、いずれかの試合に出場しなければならない。

３）チーム選手が欠員で３名になった場合はオープン参加とする。

＊オープン参加のチームを除いたチームで試合を行う。（オープン参加のチームは別で試合を行う。）

４）Ａクラスは、６年生を１名以上含むチームとする。

Ｂクラスは、５年生以下とする。

Ｃ１クラスは、４年生以下とする。

Ｃ２クラスは、３年生以下とする。

ただし、チーム構成上参加が不可能な団員には、ミニゲームを行う場合がある。

参加チーム数によりＡ、Ｃ　２つのクラスにする場合もある。

５）男子の参加を認める。ただし、複のみとし、女子とペアにする。

チーム構成については以下の様に定める。

＊4 人チームの場合は、男子は２人までとする。

＊5 人チームの場合は、男子は３人までとする。

＊6 人チームの場合は、男子は４人までとする。

＊7 人チームの場合は、男子は４人までとする。

２．本大会競技規則（☆は、江南市スポーツ少年団独自のルール）

☆ 1）試合は、検定ナイロン球を使用する。

☆ 2）試合順は、複１・複２・単とし、選手は複・単を兼ねることができる。

☆ 3）全クラスの全てのチームが、２試合以上の試合をする。

☆ 4）サービスフォルトは、Ａ・Ｂクラスは１回目からフォルトとする。　Ｃクラスは指導のみとする。

＜Ａ・Ｂクラス＞

☆ 5）予選による、上位チームの決勝本戦。

但し、参加チーム数により、リーグ戦又はブロック戦（変則も有）となる場合もある。

☆ 6）決勝本戦に進めなかったチームは、交流戦を行う。

☆ 7）各試合１ゲーム１５点の３ゲームマッチ。

予選は３マッチ全てを有効とし、２マッチを取得したチームが勝ちチームとなる。

決勝本戦は、２マッチを先取して勝敗が決した時点で終了とする。

全試合１４対１４になった場合は２点差がつくまで、または２０点を先取したチームが

ゲームの勝者となる。

☆ 8）決勝本戦の選出チーム数は、予選のブロック数によって運営委員会で決定する。

☆9）予選順位は　勝率＞ゲーム率＞得失点率　で決める。

＜Ｃ１，Ｃ２クラス＞

☆10）リーグ戦又はブロック戦をする。（変則も有）

☆11）各試合１ゲーム１５点１ゲームマッチ。

３マッチ全てを有効とし、２マッチを取得したチームが勝ちチームとなる。

１４対１４になった場合は２点差がつくまでゲームを行うが２０点を先取したチームがゲームの勝者となる。

☆12）順位は、勝率>ゲーム率>得失点率で決める。

３．その他①

☆1）全てのクラスにおいて参加チーム数により、トーナメント戦・リーグ戦・ブロック戦などに変更する場合がある。

☆2）全てのクラスにおいて参加チーム数により、ゲーム数及び得点を変更する場合がある。

☆3）全てのクラスにおいて参加チーム数により、表彰について変更する場合がある。

☆4）表彰について、クラス別で行うことがある。

☆5）同団チームが対戦しないように配慮する。（Ａクラスの決勝本戦は除く。）

４.大会運営

1) チーム構成上で本大会へ参加出来ない団員（女子部で活動している男子も含む）については希望があれば
単ゲームを２試合行う。
詳細事項は運営委員会に一任する。
2) 協力審判員は各単位団１名の登録を行う。（監督者会議時に申請・登録願います）
3) 審判は、各クラス対戦チームによる相互審判とする。
当該チーム間の審判交代を認める。 指導者の判断により、各団内の補助も認める。
4) 補助は、Ｃクラスに限り、審判講習を受けた大人も認める。（青ベストを着用）
5) チームの登録選手及び監督又は責任者１名の監督者席への入場を認める。
なお、監督又は責任者は運営委員会の貸し出す「チーム責任者」カードを着用、監督席に位置することとし、
セット中の移動は認めない。 ただし、チェンジエンド時は、監督も移動を認める。
6) 団員を除く監督またはチーム責任者、登録審判員以外でアリーナに降りている者には、
本部からの審判応援要請をする場合がある。
7) Ａクラスの決勝戦、3位決定戦の審判は協力審判員及び運営委員にて実施する。
8) 練習は各チーム初戦のみ、審判到着後、審判員の指示に従い、チーム単位での２分間の練習のみとします。
上記以外はラケット・シャトルを使用しての練習は一切認めない。（素振りも同様とする）
9) チェンジエンド時に給水を認める。（４０秒以内）
10) シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ（試合）中、アドバイスを受けることができる。
11) 次の試合の参加選手の入場を認めるが、試合進行の妨げとならないようアリーナ外周を使用して移動すること。
12) 大会参加申込書提出以降の変更は認めない。
但し、不測の事態によりチーム構成が３名以下になる場合に限り監督者会議にて判断する。
13) 大会当日の各試合のメンバー表（オーダー表）は、提出以降の変更を認めない。（オープン参加チームは除く）
14) コート毎に旗が用意してあります。不測の事態発生時は、旗を振って近くの運営委員にお知らせください。
これら不測事態の最終的な判断は運営委員長に一任とする。

５.体育館使用上の注意

1) ごみは各自でお持ち帰りください。
2) 施設内のコンセントは使用禁止。
3) ２階観覧席のチーム席は指定の場所でお願いします。
4) 飲食は観覧席でお願いします。
5) ランニングコースには荷物を置かないでください。
6) 施設内は土足厳禁です。団員及び、応援の方も上履き、下足袋を用意し管理してください。
（下駄箱は使用しない）
7) 喫煙は喫煙場所でお願いします。

６．その他②

1) 開会式には全登録チームが参加する事とする。
2) 協力審判員登録者は、選手たちに気持ち良くプレーさせるためにも 日ごろから審判員としての練習実施
及び、細心の注意を払った審判を行うこと。
3) 競技場内でのフラッシュ撮影は試合進行の妨げとなりますので「禁止」といたします。